

1 主な年齢の平均余命

平成 26 年簡易生命表によると、男の平均寿命は 80.50 年、女の平均寿命は 86.83 年となり前年と比較して男は 0.29 年、女は 0.22 年上回っている。平均寿命の男女差は、6.33 年で前年より 0.07 年減少している。また、主な年齢の平均余命をみると、男女とも全年齢で前年を上回っている。（表 1、表 2）

平均寿命が伸びたのは、性・年齢別にみた死亡状況の改善によるものである。これを死因別にみると、男は悪性新生物及び肺炎、女は心疾患（高血圧性を除く、以下同じ）及び脳血管疾患の死亡状況の改善が大きい。（図 1）

表 1 主な年齢の平均余命

(単位：年)

年齢	男			女		
	平成26年	平成25年	前年との差	平成26年	平成25年	前年との差
0歳	80.50	80.21	0.29	86.83	86.61	0.22
5	75.74	75.45	0.29	82.07	81.84	0.23
10	70.77	70.49	0.28	77.09	76.87	0.22
15	65.81	65.52	0.29	72.12	71.89	0.23
20	60.90	60.61	0.29	67.16	66.94	0.22
25	56.05	55.77	0.28	62.23	62.01	0.22
30	51.21	50.93	0.28	57.32	57.09	0.23
35	46.38	46.09	0.29	52.42	52.19	0.23
40	41.57	41.29	0.28	47.55	47.32	0.23
45	36.82	36.55	0.27	42.72	42.49	0.23
50	32.18	31.92	0.26	37.96	37.74	0.22
55	27.68	27.44	0.24	33.28	33.07	0.21
60	23.36	23.14	0.22	28.68	28.47	0.21
65	19.29	19.08	0.21	24.18	23.97	0.21
70	15.49	15.28	0.21	19.81	19.59	0.22
75	11.94	11.74	0.20	15.60	15.39	0.21
80	8.79	8.61	0.18	11.71	11.52	0.19
85	6.24	6.12	0.12	8.35	8.19	0.16
90	4.35	4.26	0.09	5.66	5.53	0.13

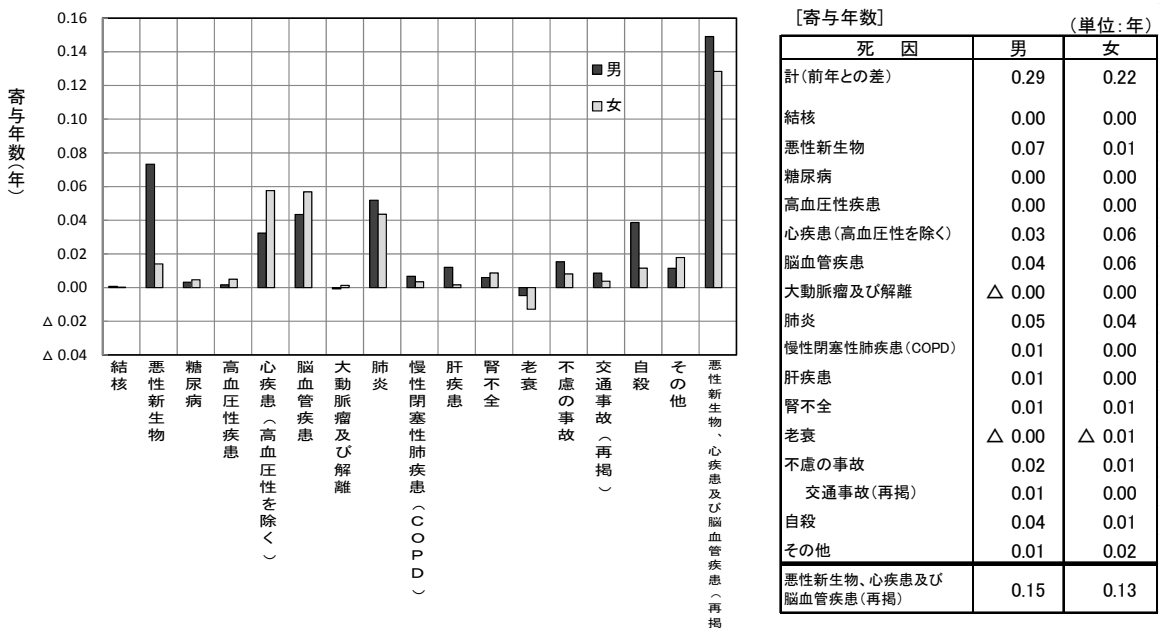
表 2 平均寿命の年次推移

(単位：年)

和暦	男	女	男女差
昭和22年	50.06	53.96	3.90
25-27	59.57	62.97	3.40
30	63.60	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.70
平成2	75.92	81.90	5.98
7	76.38	82.85	6.47
12	77.72	84.60	6.88
17	78.56	85.52	6.96
22	79.55	86.30	6.75
23	79.44	85.90	6.46
24	79.94	86.41	6.47
25	80.21	86.61	6.40
26	80.50	86.83	6.33

注：1) 平成 22 年以前は完全生命表による。
2) 昭和 45 年以前は、沖縄県を除く値である。

図 1 平均寿命の前年との差に対する死因別寄与年数



注：交通事故は、不慮の事故の再掲である。